

【実施計画】計画を具体化する

～安心して「ここに住みたい」と思えるように、
必要な情報をきちんと“伝える”準備をしよう～

令和7年6月3日(火) 16:00～17:30
一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム
地域みらい留学 住まい伴走チーム



○本日の登壇者



合同会社 NOWA

代表

門脇 享平（かどわき きょうへい）

住まい事務局

久保 寛菜（くぼ かな）

○会社概要

所在地：佐賀県佐賀市多布施4-1-15

社員等：役員2名、メンバー3名、パートナー（業務委託）11名

事業内容：教育魅力化に資する事業（高校魅力化の伴走支援、魅力化コンソーシアムの構築支援、高校生が暮らす寮の運営及び寮整備の伴走支援など）

○住まい整備 活動実績

- ・有田工業高校シェアハウス立ち上げ・運営支援（R5年度～）
- ・佐賀県唐津市高校生寮の立ち上げ・運営支援（R5年度～）
- ・山形県高畠町様：基本計画策定支援（R6年度）
- ・鹿児島県知名町様：基本計画策定支援（R7年度～）

	研修内容	日時	目指す状態
1	住まい整備の全体像	4月25日(金) 16:00～	入居者受け入れまでに 何をする必要があるか分かる
2	【基本計画】 つくりたい住まいを描く	5月13日(火) 16:00～	住まい整備の軸となる基本計画を 関係者に共有できる
3	【実施計画】 計画を具体化する	6月3日(火) 16:00～	住まいに関わる人たちの 関係性が整理され 年間の運営計画が描ける
4	【運営体制】 継続できる仕組みをつくる	8月5日(火) 16:00～	住まい運営の担当者が 日々の業務を安定して回せる
5	【事例共有】 他地域の実践から学ぶ	9月1日(月) 16:00～	基本計画～実施計画～運営体制 の作り方が分かる

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

こちらの3つのステップは住まい整備の基本的な考え方です。
今回は、生徒募集が本格的にはじまるこのタイミングに決めていく必要がある項目を中心にお話します。

1	寮則	30分
2	年間計画	10分
3	寮の運営方式	10分
4	入居検討者とのコミュニケーション	10分
5	運営体制の具体化	5分
6	質疑応答	15分
7	まとめ	5分
8	お知らせ	5分

1	寮則	30分
2	年間計画	10分
3	寮の運営方式	10分
4	入居検討者とのコミュニケーション	10分
5	運営体制の具体化	5分
6	質疑応答	10分
7	まとめ	5分
8	お知らせ	5分

入居者に伝える必要がある情報を中心にお話しします。
ご紹介する項目のなかから、「自分の市町・学校で準備する必要があるのはなにか？」を考えてみましょう！



入居検討者(中学生・保護者)に何を伝える必要があるかわかる



寮整備を進めるために、今後何を決める必要があるか分かる

今回の研修では、中学生・保護者に選ばれる寮にするために「なにを決める必要があるか」をお伝えします。

寮則

ルールはなぜ必要なのか？を考えてみてください
(3分ほど)

寮則（ルール）は何を実現するために
必要だと思いますか？

これからお話しをするケースを
もとに考えてみましょう？

Case1 ゴールデンウィーク明けの出来事

あなたは役場の職員として、寮の運営に関わっています。
今年も1年生が寮に5人ほど入寮し、新しい生活が始まろうとしていました。
4月も落ち着き、5月になりゴールデンウィークが終わった最初の週に、寮母さんから連絡が入りました。

「一年生のある生徒が部屋から出てこれなくて。ちょっとお話を聞いてもらえませんか？」

あなたはすぐに寮に向かい、部屋から出てこれなくなった生徒とお話することになりました。

あなた「何かあったのかい？」

生徒A「実は最近僕の服や大事なものがどんどんなくなっているんです。いじめられている感じがあって怖いんです。」

どうやら入寮後に生徒間で何かトラブルがあった様子で、部屋から出てこれない状態でした。
一方で、いじめがあるとはこれまで報告がなく、現時点では断定できないため、あなたは生徒の同級生に話を聞くことにしました。

Case1 ゴールデンウィーク明けの出来事

あなた「Aくんのことについて何か知っていることはあるかい？モノがなくなったって言っているんだけど。」

生徒B「Aくんはいつも洗濯物を入れっぱなしで片付けないんだ。いつも僕たちの誰かが洗濯カゴに入れてるんだけど、正直大変で。正直みんな煩雑に扱っているから、もしかしたら靴下とかなくなっているかもしれないね。」

生徒C「Aくんはいつも共用スペースに財布とか、携帯とか大事なものを置き忘れることが多いんだ。最初は気づいたら伝えていたんだけど、それも毎回大変だから今は放っておいているんだよね。財布の中身とか取ることはさすがにしないけど、あまりにもモノをいろんなところに置きちゃっているから、それで無くしちゃったんじゃないかな？」

生徒の意見を聞いていると、どうやら生徒Aの私生活にも課題があったようだった。すると、突然携帯に電話がかかってきた。見知らぬ番号だったが出てみると、生徒Aの保護者から電話がかかってきた。

保護者「生徒Aの親ですが、一体どういうことですか？寮でいじめられているかもしれないって。息子から連絡がありました。いまどんな状況なんですか？息子は大丈夫なんですか？」

次から次へといろいろな出来事が起きてしまい、対応に追われるのでした。

考えてみましょう！

生徒Aの
気持ち

生徒B・Cの
気持ち

保護者の
気持ち

どんなルールが
あれば
よかった？

学校

学び合う場所であり、活動をする場所

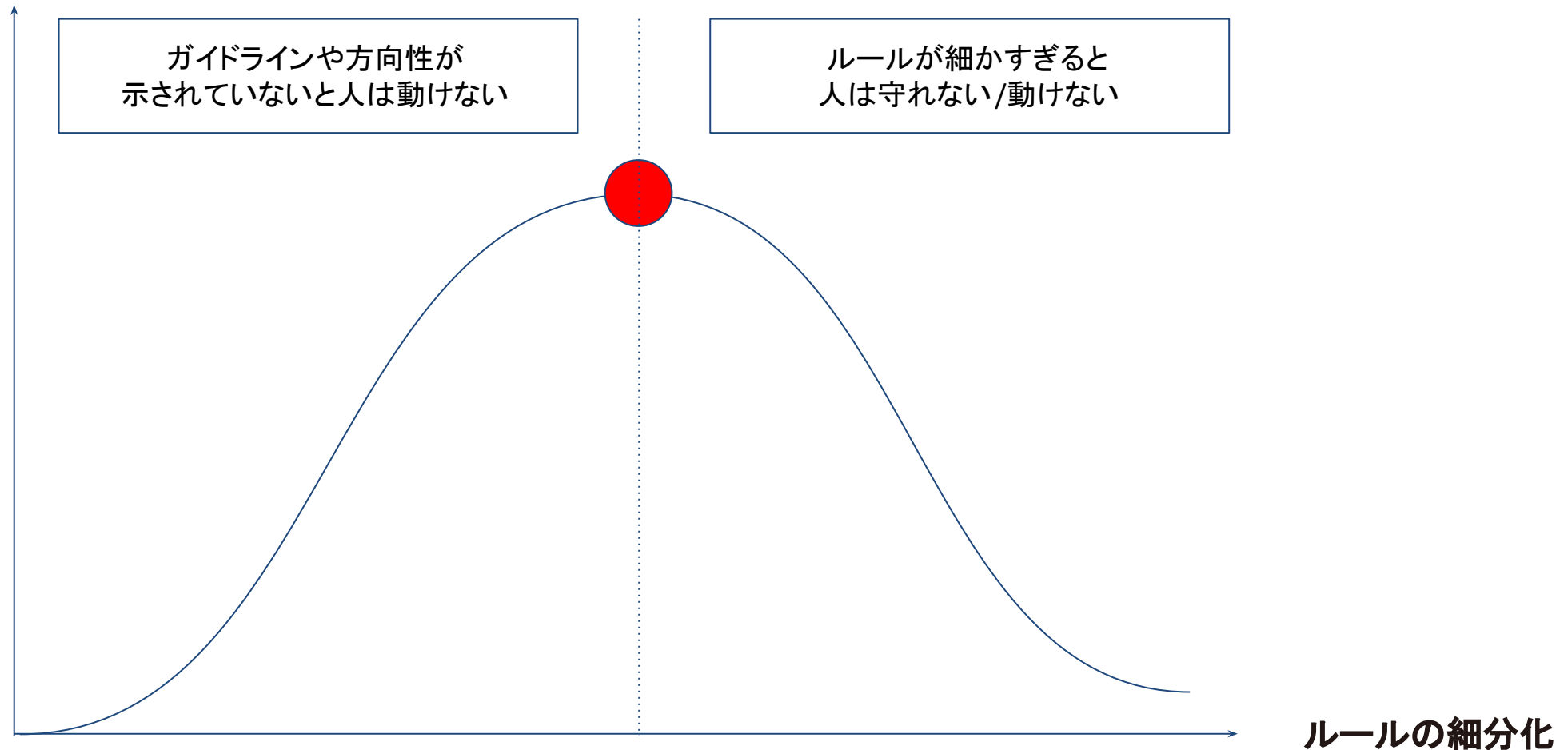
寮

**学校とは違いパーソナルな部分も含めて休息したり
学び共同で生活をともにする場所**

寮則とは

みんなが気持ちよく、快適に生活するための共通認識

生徒の主体性

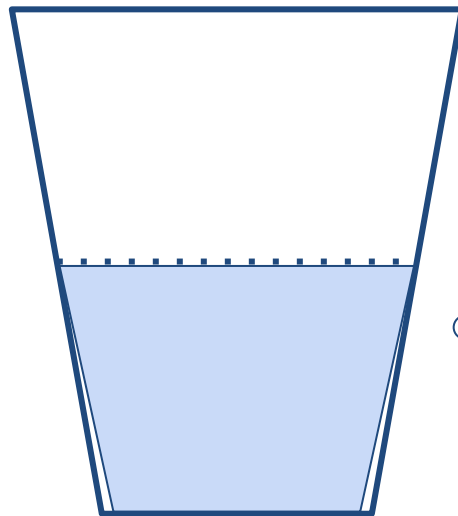


全ての行動をコントロールすることは、生徒の精神的な苦痛や反発に繋がる。
行動を制限しすぎることなく、生徒にも考える余白を持たせることが生徒の主体性を引き出すポイント。

-事実-

-解釈-

-行動-



コップに水が半分も
入っている



水を注がない

コップに水が半分しか
入っていない



水を注ぐ

事実はひとつでも解釈は多様に存在する。言語化し、共通認識を持つことで適切な対応をとることができる

変えられないもの

VS

変えられるもの

ルールは「変えられる」ような手続きを用意しておくことで常に納得感のあるルールを作り続けることができる。
「変えられない」場合、環境の変化に対応をすることができる「ルール」の機能不全が起きる。

入居者は、共同生活の秩序維持に努めるとともに、ほかの入居者の正当な権利を尊重し、不快感及び迷惑を与える行為をしてはならない。

（外泊）

入居者が外泊をする場合は、外泊の4日前までに保護者が寮監へ外泊届を提出する。

帰省時も外泊届を提出する。

（帰宅門限）

- ・ 門限は、19時とする。
- ・ 部活、学校行事等で門限に間に合わない場合は、「帰寮時間変更届」を寮監に提出する。
- ・ やむを得ない事情によって、門限に間に合わない時は、寮監に連絡する。

(2) 生徒寮は公共の施設の一部を使用しているため、川・森・文化・交流センター館内及び敷地内では来館者に迷惑がかかる行動は絶対に行わないこと。

また、寮内においては、規則正しい生活を営み、健全な体力と精神を養い、節制を重んじて美しい生徒寮気風の養成に努めるとともに、自由平等を尊び互いに協力して楽しい寮生活を営むようにすること。

(11) 帰省・外泊に関しては次のとおりとする。

ア 帰省の場合は、帰省届を提出すること。

イ 門限は 20 時 30 分とする。部活動や生徒会活動等で門限を過ぎる場合は、帰寮時間変更届を提出すること。

ウ 外泊の場合は外泊届を提出した上、保護者から舎監に連絡すること。

エ 帰省・外泊中に事故等があり予定通りに帰寮できないときは、速やかに舎監に連絡すること。

寮教育の目的を体し、たえず自己研鑽に努めるとともに、他人に迷惑をかけることなく健康で明るく規律正しい生活をするよう努力しなければならない。

10 外出・外泊・帰省

（1）外出について

外出は特別の事情がない限り許可しない。

（2）外泊について

特別の事情がない限り許可しない。

（3）帰省について

- ・帰省は金曜日の放課後に行い、日曜日の19時30分までに帰寮する。
- ・帰省、帰寮時は寮事務室の名札表裏処理と同時に舎監に口頭報告する。
- ・事故などにより帰寮できない場合および、遅延する時には速やかに保護者が連絡する。
- ・帰省途中の行動については、本校生徒としての自覚をもって行動し、公衆道徳を守り生徒心得に反する行動があってはならない。
- ・帰省中も寮生活の規律に従って生活するように心掛け、健康管理に十分注意する。
- ・帰寮後は正規の日課に従う。

寮則において考えるべき要素(テーマ別)

安全	健康	快適	自由
門限	起床時間	施設の利用ルール	スマホの取り扱い
緊急時の対応	就寝時間	お風呂の使い方	休日の過ごし方
現金/貴重品の管理	食事/食事準備	洗濯機/洗面所の 使い方	宅急便の受け取り
外泊	欠席	共同スペースの 使い方	帰省/家族との面会
保護者の宿泊	体調不良/早退	空調関連のルール	地域活動について

上記に記載の項目はあくまで例ですので、各学校との協議の際に参考にしてください。

原則(基準)	禁止事項(NG行為)	対応	組織(責任範囲)
項目に対してどんな行動を求めるのか？	例外/やってはいけない行動	禁止事項が守れない場合の対応	誰が責任を持って決めるのか
▼	▼	▼	▼
原則門限は20時までとする	無断での20時以降の外出/帰宅は禁止	1週間の部活動禁止など	寮母さん/コーディネーターなど

全ての項目に罰則を設けるわけではないが、生活や健康、周囲との関係性から適切な対応方針を決めることが重要。
またその対応を誰が、どの権限で実施するのかを決めておくのも重要

ワーク①: 寮則を一つ作ってみよう！

大項目	中項目	小項目	原則	禁止事項 (NG事項)	対応	組織 (責任範囲)
健康	就寝時間	起床				
		就寝/消灯				
	食事	朝食				
		夕食				

禁止事項は無理に定めなくても大丈夫です。ルールを定める際には、「納得感のある説明ができるかどうか」「実現したいコンセプトと合致するかどうか」という観点で策定をしていくことが重要です。

第2回研修でつくったコンセプトに照らし合わせて、
つくりたい寮を実現できる寮則にしましょう！

寮則に含まれる項目が同じでも、
寮生に判断を委ねる程度や表現の仕方によって、寮則は変わります。

寮則をつくる際は、以下のポイントに気をつけて考えてみましょう。

ポイント1

規則にどれくらいの拘束力/柔軟性をもたせるか？

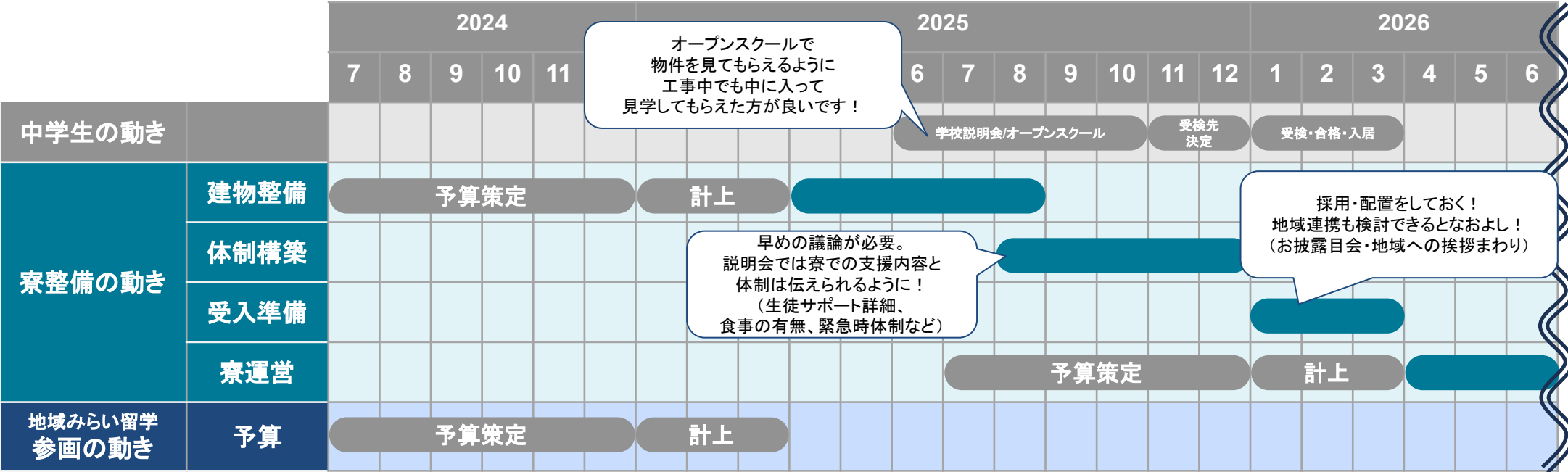
ポイント2

規則の言葉や表現をどうするか？

年間計画

		2024						2025												2026						
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
中学生の動き													学校説明会/オープンスクール				受検先決定		受検・合格・入居							
寮整備の動き	建物整備	予算策定						計上																		
	体制構築																									
	受入準備																									
	寮運営													予算策定				計上								
地域みらい留学参画の動き	予算	予算策定						計上																		

寮整備の動きと地域みらい留学の動きが初年度は同時に起こります。



生徒募集に合わせて、いつまでに、何をすべきか、のポイントがありますが、
地域みらい留学で生徒募集をする際、保護者は基本的に不安になっていることが多いので、
不安を取り除くような写真や資料を用意することが大事です

毎年恒例のイベント

入居手続き

入居対応や手続きなどの対応

長期休み

GWや夏休みなどの
長期休暇の対応

地域みらい 留学説明会

地域みらい留学での寮の説明など

テスト期間

テスト期間中の寮の運営

退去手続き

退去時のフローや契約の流れなど

企画型のイベント

新入生歓迎会

新入生を迎え入れるための
イベント

地域イベント

地域のお祭りへの参加など

寮内イベント

寮独自のイベント
(クリスマス会など)

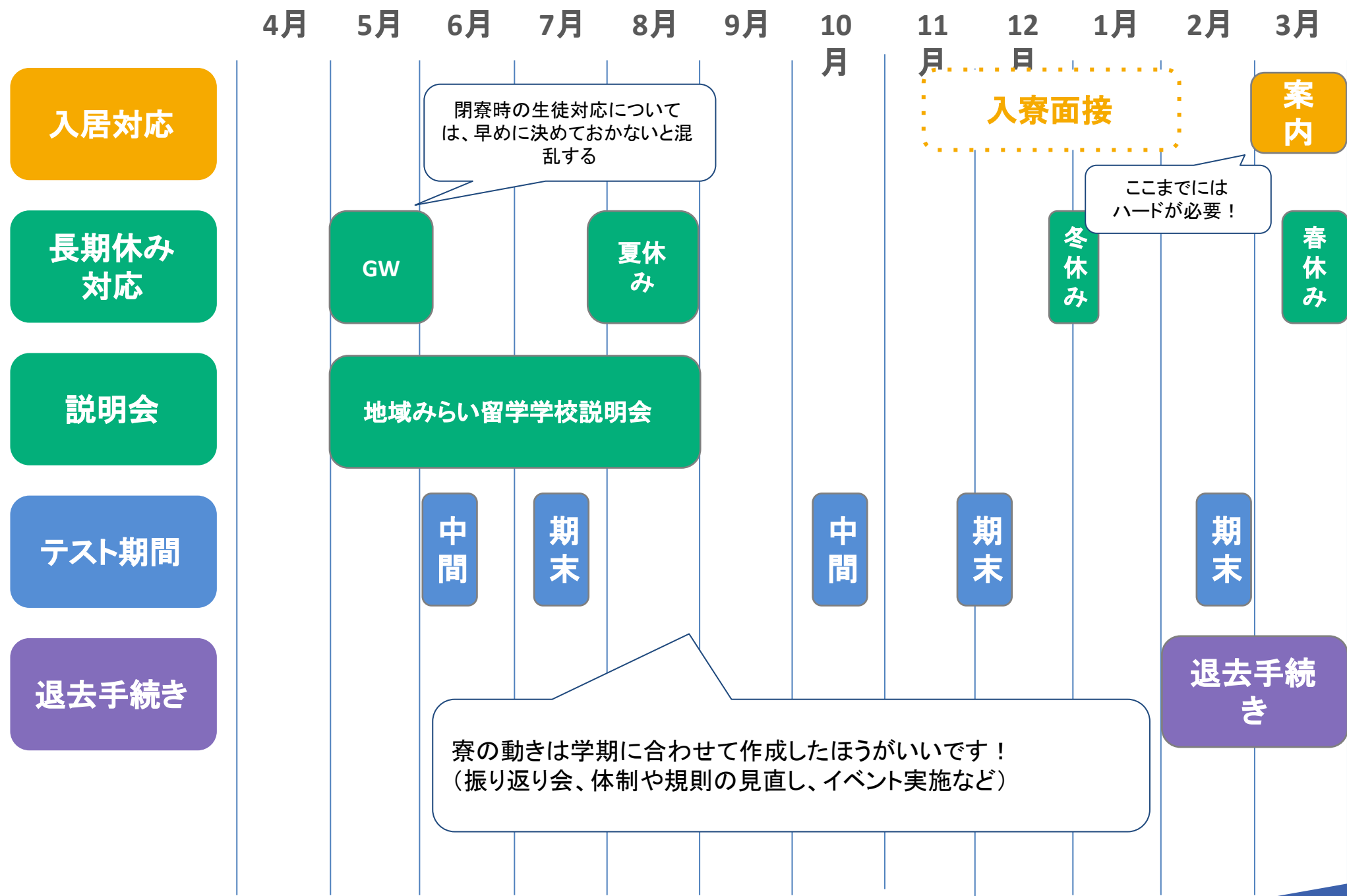
寮外イベント

寮外での課外活動や探究活動など

卒業イベント

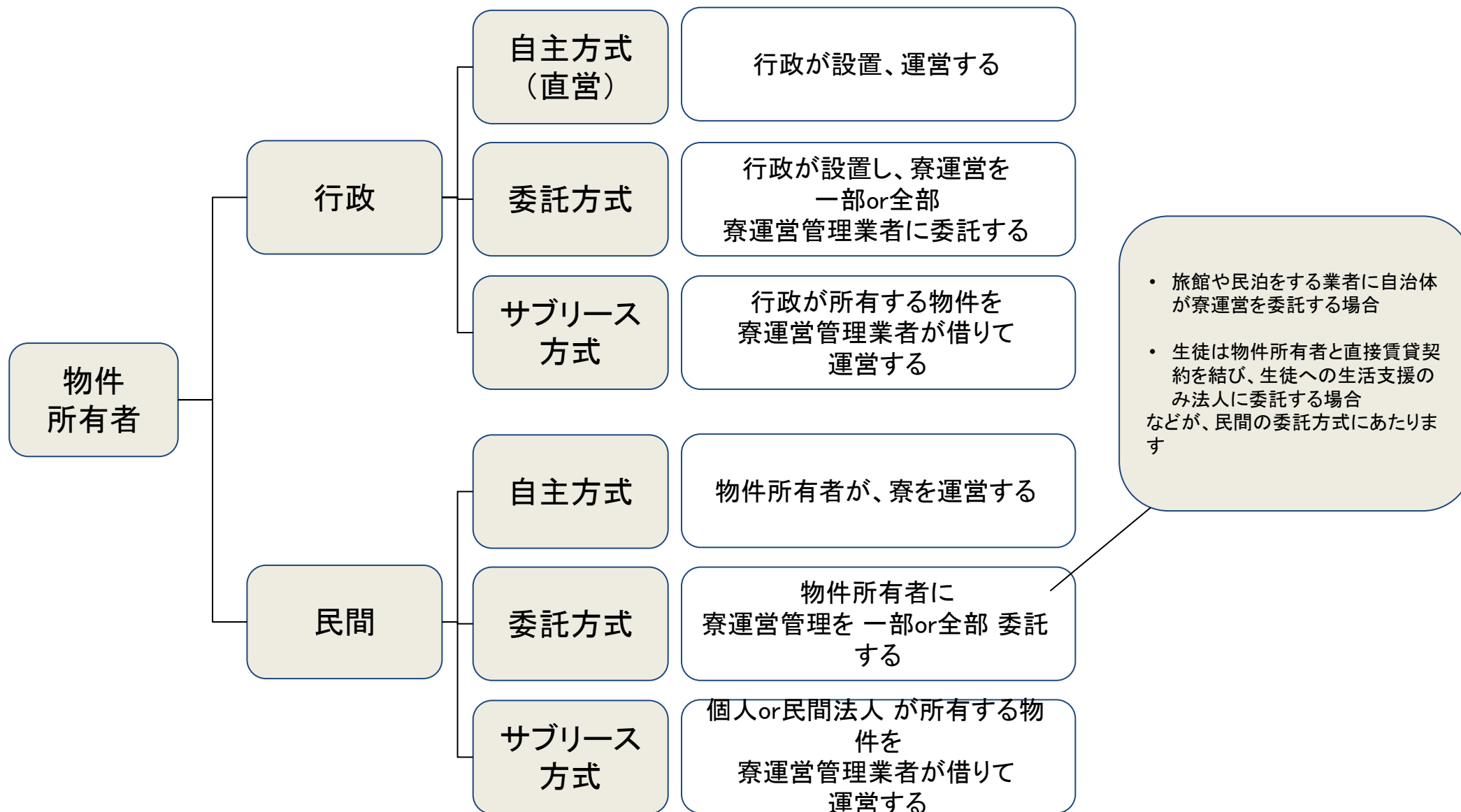
退寮生の送別会など

毎年恒例イベントは必ず訪れるので事前に設計しておく。また寮独自の企画型イベントも寮生を巻き込みながら、年間計画の時にまとめておくと、スムーズな進行を行うことができるため設計しておくのが良いです。



寮の運営方式

寮の運営方式によって、契約の仕方が変わります。



自主方式

行政(賃貸人)

賃貸借契約

入寮生(賃借人)

委託方式

行政(賃貸人)

賃貸借契約

寮運営管理
委託契約

寮運営管理業者

入寮生(賃借人)

サブリース方式

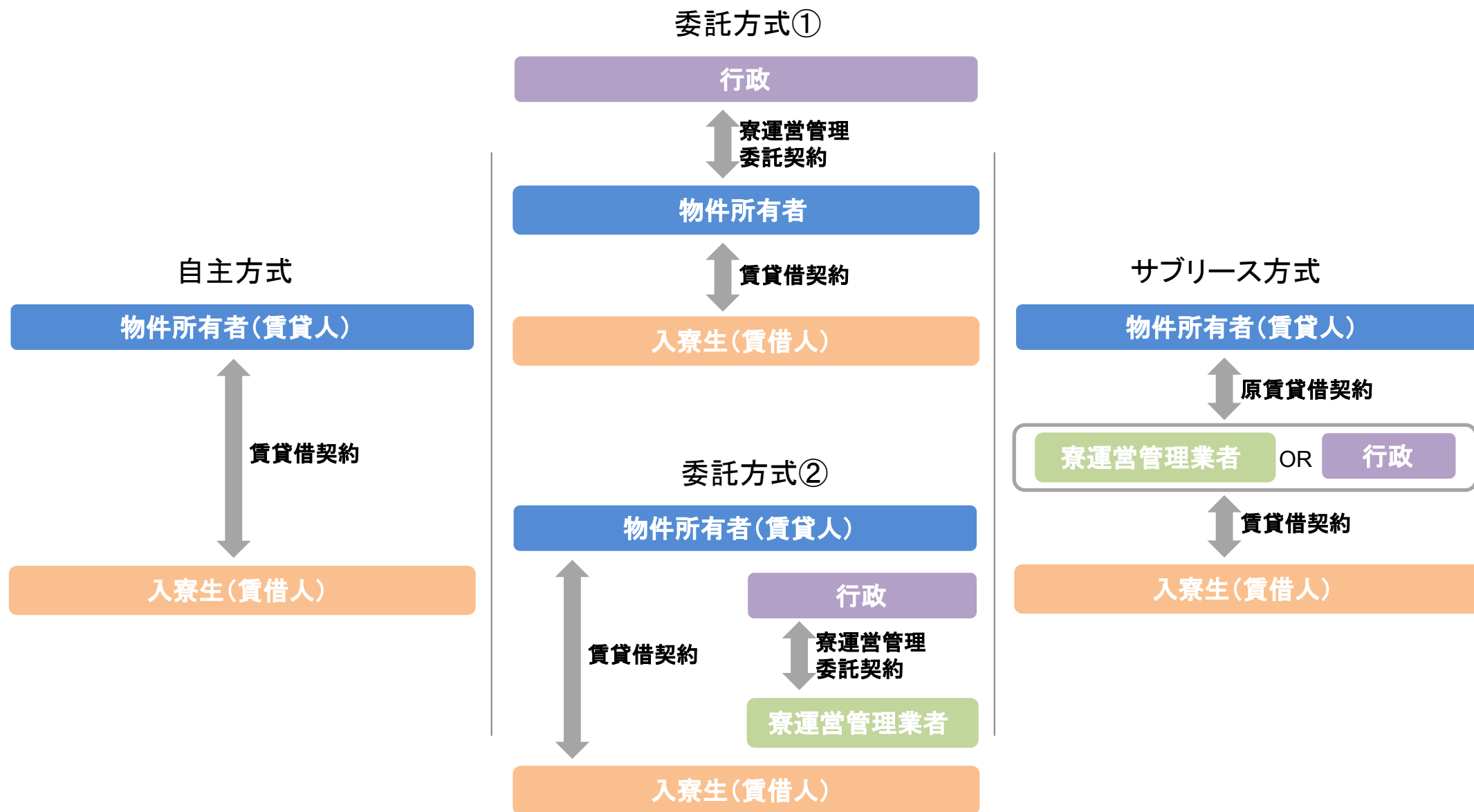
行政(賃貸人)

原賃貸借契約

寮運営管理業者(転貸人)

賃貸借契約

入寮生(賃借人)



修繕箇所について、誰が負担をするか、予め決めておく必要があります。

契約関係者

行政

寮運営管理業者

物件所有者

入寮生

修繕の種類

大規模修繕
(リフォーム、壁・床張替え、天井の雨漏り 等)

設備の故障

故意、過失による破損、紛失

備品の故障

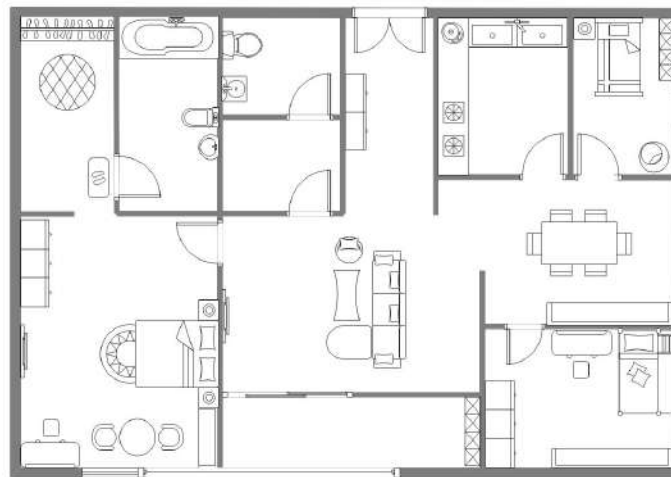
入居検討者とのコミュニケーション

もしみなさんが2ヶ月後に「東京」に引っ越してください、と言われたら
どんな条件で考えますか？

またどんな情報を知りたいと思いますか？実際に東京の賃貸を検索しながら
気になる点を書き出してみましよう！

広さはどのくらい？

水回りはどうかな？



日当たりは？

何部屋あるかな？

<掲載おすすめ情報>

項目	例
建物名	〇〇住宅
住所	〇〇町1丁目 ※合格決まって入居が決まった人にだけ伝える
学校までの距離	徒歩 〇分、自転車 〇分
アクセス	〇〇駅(バス停)から徒歩5分・〇〇高校から徒歩10分
間取り	3LDK、各部屋6畳ずつ
寮でのサポート内容	食事提供の頻度、緊急時の対応、日々のサポート内容(面談、学習サポートなど)、備品、WiFi環境など
寮費	〇〇〇円

<掲載おすすめ写真項目>

外観	トイレ	収納場所
玄関	お風呂	建物の図面
リビング	洗面所	
キッチン	個室	

ありこや概要

- 料金：月額 75,000円
(要件を満たす場合、有田町から生活支援金30,000円/月の補助あり)
※別途、入寮費10,000円、火災保険加入費用のご負担をお願いいたします。
- 周辺施設
 - スーパー：まつばや、スーパーWEST、マックスバリュー、ドラッグストアコスモス
 - ホームセンター：ユートク
 - 病院（内科）：馬渡クリニック、蒲地医院
- 学校からの距離
 - 男子寮：自転車で15分（2.4km）
 - 女子寮：自転車で10分（1.8km）

入寮者へのサポート内容

- 電気、ガス、水道、インターネット環境の整備
- 家具・家電の整備
- 消耗品の整備・補充
- 施設管理
- 平日夜の食事提供（おかずのみ）
- 入寮生の生活サポート

これらのサポートを行う寮監がいます。

（常駐ではなく必要に応じて訪問します。ただし、女子寮には現在、住み込みの寮監がいます。）

住まい（男子寮：定員4名）



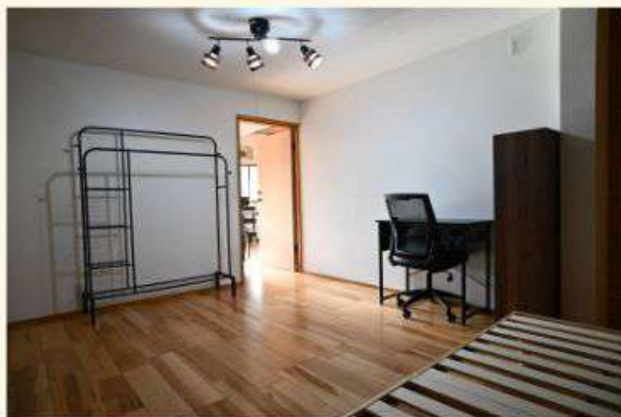
個室



共有スペース



風呂



個室



台所



トイレ

住まい（女子寮：定員5名）



個室



共有スペース



風呂



個室



台所



トイレ

食事



- 平日夜は地元の飲食店のお弁当があります。
(おかずのみ)
- ご飯や汁物は生徒が自炊します。
- 写真のお弁当はkasaneさんのお弁当です。
その他、町内飲食店の皆さまにご協力いただいています。



kasaneさん

佐賀県有田町にある築160年以上の伝統的建造物をリノベーションした和食カフェ。地元の食材をつかったお料理をいただくことができます。

備品（1年以上使用するもの）

※ありこやが配置する備品、消耗品以外を希望の場合は個人が準備すること。

配置場所	内容
個室	＜家具＞ ベッドフレーム、机、椅子、棚、衣装かけ、カーテン ＜家電＞ 照明、エアコン
共用部	＜家具＞ ダイニングテーブル、ダイニング椅子、キッチン棚、洗濯物干し、カーテン、タオル掛け ＜家電＞ ダイニング照明、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、IHコンロ、電子レンジ、トースター、炊飯器、電気ポット、掃除機、時計、無線ルーター ＜調理器具＞ フライパン、鍋、包丁、まな板、フライ返し、おたま、菜箸、はし、カトラリー一式 ＜清掃道具＞ ゴミ箱、トイレブラシ、風呂掃除ブラシ、フローリングワイパー本体 ＜その他＞ 消火器、救急箱、常備薬、防災リュック、非常食

消耗品（1年未満で使い切るもの）

※ありこやが配置する備品、消耗品以外を希望の場合は個人が準備すること。

配置場所	内容
共用部	<p>〈衛生〉トイレトペーパー</p> <p>〈調理〉ラップ、アルミホイル</p> <p>〈食材〉米（上限あり）、味噌（上限あり）、調味料（塩、砂糖、油、醤油、だし）</p> <p>〈清掃〉ゴミ袋、トイレ用洗剤、お風呂用洗剤、食器用洗剤、フローリングワイパー紙、食器洗い用スポンジ、布巾・雑巾</p> <p>〈衛生〉手洗い用石鹸</p> <p>〈その他〉殺虫剤、電球、電池</p>

寮監がサポートすること

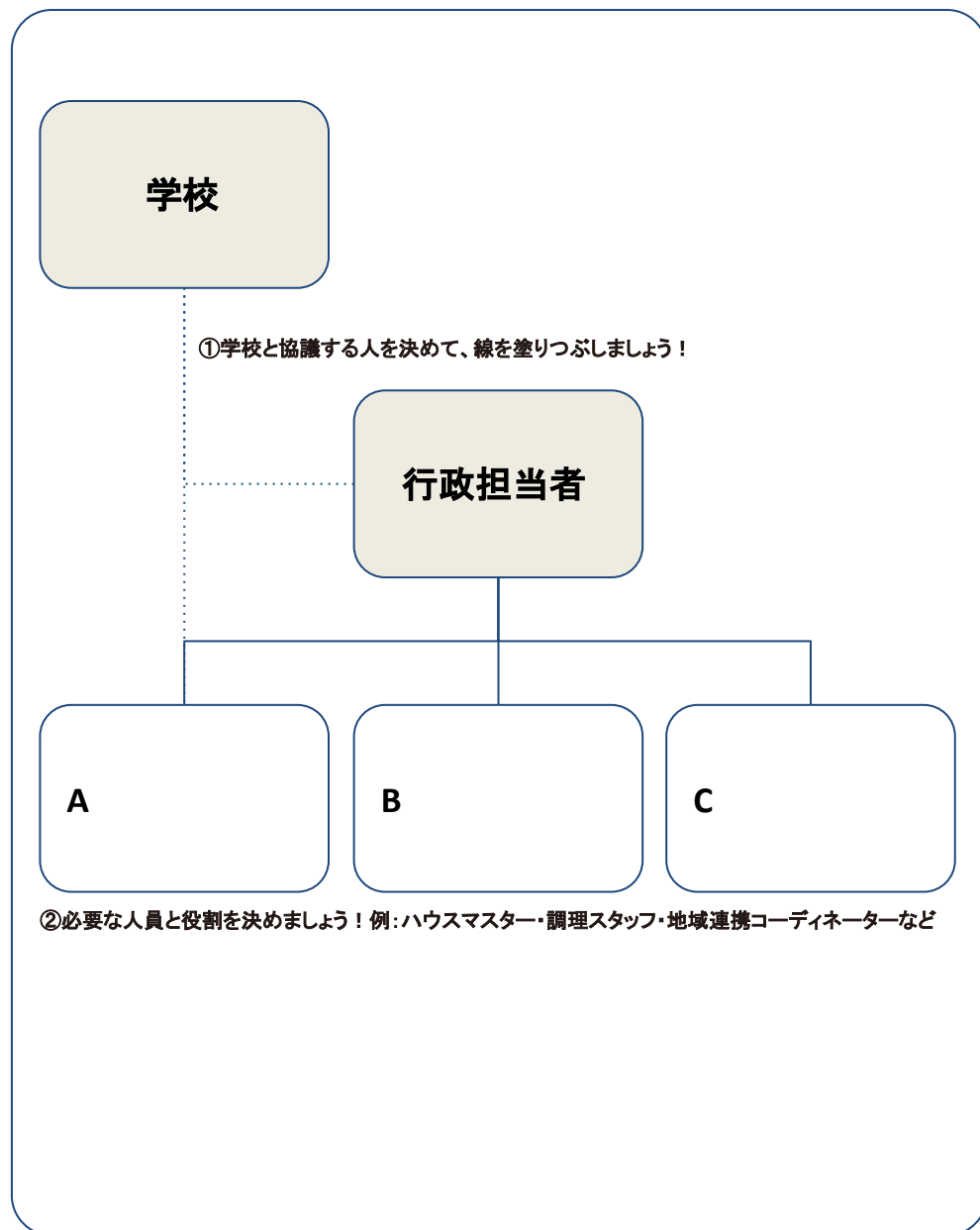
- 施設の維持・修繕
- 備品、消耗品の補充
- 清掃のサポート（基本は生徒が共同して清掃を行います）
- 寮生とのコミュニケーション（寮の設備、外泊、帰省に関することなど）
- 入退去時のサポート

ハウスマスターがサポートすること

- 生徒の健康チェック
- 生徒との面談
- イベント実施（生徒との食事会、地域の方との交流など）

運営体制の具体化

【再掲】ワークシート②体制図と採用方法を決めよう！



	A	B	C
必要なスキル			
必要な経験			
活用する制度 (例：地域おこし協力隊)			
採用する媒体 (どうやって集めるか)			
訴求ポイント (何を伝えるか)			

	月	火	水	木	金	土	日
午前(起床) 8:00-12:00							
午後(登校-帰宅) 12:00-18:00							
夜(帰宅-夜間) 18:00-23:00							
夜間-明け方 23:00-8:00							

誰が、どの時間を担当するべきか、を決めるためのワークを行います。
事例をみながら、体制と業務時間を考えてみましょう！

	月	火	水	木	金	土	日
午前(起床) 8:00-12:00							
午後(登校-帰宅) 12:00-18:00	寮監: 備品・消耗品補充、施設の掃除・点検・修繕(週 1)						
	寮監: 弁当配達(平日毎日)						
夜(帰宅-夜間) 18:00-23:00	ハウスマスター: 訪問・面談(週 1)						
	マネージャー: 生徒の健康チェック(平日毎日)						
夜間-明け方 23:00-8:00	訪問看護ステーション: 緊急時の対応(毎日)						

誰が、どの時間を担当するべきか、を決めるためのワークを行います。事例をみながら、体制と業務時間を考えてみましょう！

質疑応答

まとめ

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

【再掲】住まい整備の3つのステップ

寮運営の指針となる
コンセプトをつくろう！

寮コンセプト(つくりたい町の未来/育みたい生徒像/大切にしたい寮での体験)

①基本計画 (描く)

寮機能、寮業務一覧、人員配置、役割分担、寮運営費

コンセプトに紐づけて、
寮運営の座組をつくろう！
(内部での予算化のため)

②実施計画 (具体化する)

- ・寮運営の年間計画
- ・各役割のタスク
- ・コミュニケーションライン
- ・寮収支計画

③運営体制 (仕組みをつくる)

- ・寮則・ルール
- ・行動指針、ガイドライン
- ・業務マニュアル
- ・各種契約書類
- ・経理業務フロー

改善する (みなおす)

- ・課題の抽出
- ・知見の整理、共有
- ・振り返り

基本計画の内容を実施できるように、
詳細を決めよう！
(中学生・保護者に伝える情報を
整理するため)

次回は寮運営の体制づくりについて
お話しします！
(寮運営を担うスタッフが業務遂行
できるようにするため)

1	寮則	30分
2	年間計画	10分
3	寮の運営方式	10分
4	入居検討者とのコミュニケーション	10分
5	運営体制の具体化	5分
6	質疑応答	10分
7	まとめ	5分
8	お知らせ	5分

入居検討者に伝える情報を整理するために、
優先的に決める必要がある内容をお伝えしました。

1	寮則	30分
2	年間計画	10分
3	生徒受け入れに向けて決める必要のある内容が多いですが、 寮の運営方式	10分
4	まずは、 入居検討者とのコミュニケーション	10分
5	▶決める必要のある項目（＝中学生・保護者に伝える必要があること） を知ること 運営体制の具体化	5分
6	▶現時点で決まっていること・決まっていないことがわかり、今後なにを決 めていく必要があるか分かること	5分
7	が重要です。	
8	お知らせ	5分

入居検討者に伝える情報を整理するために、
優先的に決める必要がある内容をお伝えしました。

お知らせ

	研修内容	日時	目指す状態
1	住まい整備の全体像	4月25日(金) 16:00～	入居者受け入れまでに 何をする必要があるか分かる
2	【基本計画】 つくりたい住まいを描く	5月13日(火) 16:00～	住まい整備の軸となる基本計画を 関係者に共有できる
3	【実施計画】 計画を具体化する	6月3日(火) 16:00～	住まいに関わる人たちの 関係性が整理され 年間の運営計画が描ける
4	【運営体制】 継続できる仕組みをつくる	8月5日(火) 16:00～	住まい運営の担当者が 日々の業務を安定して回せる
5	【事例共有】 他地域の実践から学ぶ	9月1日(月) 16:00～	基本計画～実施計画～運営体制 の作り方が分かる

本日の資料と動画は参画校サイトに掲載します。
本日の研修へのご意見やご感想をぜひお聞かせください。

